

講師：吉田 信一 氏

【プロフィール】 車椅子卓球選手
 2016リオデジャネイロ・パラリンピック
 日本代表（障害クラス：クラス3）
 1965年福島県須賀川市生まれ、現在府中市
 在住。17歳でバイク運転中、自動車に衝
 突し、以後、車椅子生活となる。
 ディスタンス（東京）、情報通信研究機構
 卓球部に所属。国立研究開発法人情報通信
 研究機構 NICT 勤務。
 2015年10月ベルギーオープン、12月コパ
 コスタリカオープンにて個人・団体戦の部
 で金メダルを獲得。今年1月に世界ラン
 キング 15位に入り、上位 24人に与えら
 れるパラリンピック出場資格を得て正式に内
 定され、リオデジャネイロ・パラリンピッ
 クに初出場し活躍した。

★

障害者スポーツは、世界レベルの選手でも
 支援者を探すのは難しい中、勤め先の
 NICT が、活動をバックアップする制度を
 取り入れ、練習や試合に時間を割くこと
 が出来るようになったことは大きな支えと
 なっている。世界ランキングを上げるため
 には国際大会の実績が重要だが、卓球の活
 動や海外試合の渡航費は自費でまかなっ
 てきた。吉田氏は障害者卓球の魅力発信や選
 手の環境を整えること、またこのような環
 境整備に理解ある NICT を知ってもらいた
 いという二つの目標をもって、全力で戦っ
 ている。すべての障害者にとって住みやす
 いまちづくりのためにも尽力したいと次な
 る大きな目標も持っている。



職場での吉田氏

（参考）府中市の目指すまちづくり ～みんなでつくる、「共に生きるまち」～

吉田氏が住んでいる府中市では、施設や道路等
 のハード面だけでなく、意識や情報のソフト面
 においても、障害や障壁を感じることなく地域
 で暮らすことができるよう、ユニバーサルデザ
 イン（※1）の理念に基づいた福祉のまちづく
 りを推進しています。そのためには地域の人達
 との連携や協働はとくに欠かせません。2019
 年にはラグビーワールドカップ、2020年オリ
 ンピック・パラリンピックという世界的な大会
 が東京で開かれ、府中市にも大きな役割が期待
 されています。この希有な経験を経ることで大
 会後の府中市がいつそう住みやすくなるための
 まちづくりのきっかけにしたいと考えていま
 す。

- ① 心のバリアフリー（※2）
互いに理解し助け合う福祉意識の醸成
- ② 情報のバリアフリー
分かりやすく利用しやすい情報提供の推進
- ③ 制度のバリアフリー
幅広く使いやすい制度の推進
- ④ 物理的なバリアフリー
ユニバーサルデザインの推進

※1 ユニバーサルデザインとは、できる限り多くの人が
 利用可能なように、利用者本位、人間本位の考え方によ
 って快適な環境をデザインすること。

※2 バリアフリーとは、障壁（バリア・妨げているもの）
 の除去のこと。



2011年5月、東日本大震災
 後のロッテルダム大会で吉
 田氏が各国の代表選手から
 いただいた日本への応援メ
 ヂージ。

車椅子卓球選手と対戦しよう

当日会場で対戦する小中学生
 を募集します。対戦ご希望
 の方は、電話、FAXでお申
 込みください。（応募×切
 10月20日／抽選で20名）
 当選者には10月中にハガキ
 でご連絡します。

↓ FAXでのお申込にご利用ください（対戦希望の小中学生もご利用ください）

お名前（ふりがな）		
ご住所 〒 —		
※対戦希望の方は必須		
お電話番号	返信用FAX番号	
対戦希望者は ○で囲んでください (小中学生限定)	希望する	学校名 年令 (小中学生)

参加無料 電話またはFAXでお申し込みください
府中市自治会連合会

でんわ・FAX **042-367-1112**

電話・FAX 同番 電話は土日祝を除く
 午前10時～午後3時

当日、空席があればご参加いただけます